

# 新年



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市政運営に対し、温かいご支援とご協力を賜り、感謝申し上げます。

昨年は、市長選挙が行われ、引き続き、うるま市長として3期目の市政運営を担うことになりました。

市民の皆様の付託にしっかりとお応えするために、課せられた使命と責任の重さを改めて痛感し、身の引き締まる思いであります。

3期目の市政運営につきましても、初心を忘れず全力で取り組んでまいりますので、今後も、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月に、アメリカでは、ドナルド・トランプ氏が第45代大統領に就任されました。度重なる大陸間弾道ミサイル発射など緊迫する北朝鮮情勢への政策や沖縄の基地問題などへの影響について注目したいと思います。

11月には第4次安倍内閣が発足しました。デフレ脱却を目指した生産性革命と画一的な発想にとらわれない人づくり革命への取り組みや、一億総活躍社会の実現に向け、働き方改革や地方創生など様々な課題への取り組みに、うるま市としても強く期待をしているところであります。

国の経済状況は、アベノミクスへの取り

組みで、景気は、今後も緩やかな回復基調が続く、各種政策の効果もあって、雇用・所得環境が改善されるなかで、県内経済についても、観光産業が好調で、インバウンド効果により活況を呈しており、うるま市としても、観光産業の振興に力を入れていきたいと考えております。

市政については、昨年4月から、新たに定めた10年間の指針である「第2次うるま市総合計画」がスタートし、これまで推進してきた市民協働のまちづくりを踏まえながら、将来像の実現に向けて取り組んでまいります。

本市において、事前通告なしの米軍パラスニート降下訓練が実施されたことや伊計島の農道にヘリコプターが不着したことなど米軍の事件・事故は、相変わらず発生しており、日米両政府及び関係機関には、当該訓練の中止と事故の再発防止について強く要請致しております。

また、平成28年4月に発生した米軍属による女性暴行殺人事件は、昨年12月1日に無期懲役の判決が下されたことで、一区切りついたものと理解しており、改めて哀悼の意を表します。

文化やスポーツ面では、未来を担う青少年の活躍も多く、英語読み上げ算競技で優秀な成績を収めた新崎一帆さん、暗算検定試験で優秀な成績を収めた嘉陽司英菜さん、全国大会で最高賞の高江洲小学校マーチングバンド部に「青少年特別賞」を授与し、その活躍を称えました。

プロ野球では、本市出身の東浜巨選手がパ・リーグで最多勝を獲得する快挙を成し遂げました。今後の活躍も期待しております。

教育関係では、学校の組織力と地域の教育力を連携・融合させ、地域とともにある学校づくり、いわゆる市民協働学校（コミュニティスクール）制度について、5

校を指定しスタートさせております。

昨年4月には、生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」が完成しました。多くの市民や各団体の皆様に活用されることにより、生涯学習の推進やうるま市の文化振興に大きく寄与するものと期待しております。

また、5月には、本市では初めて学校施設に隣接した学童クラブとして、南原小学校に「南原学童クラブ」を開所しました。より安全性が高い子供の居場所づくりの取り組みは、今後も、赤道小学校及び宮森小学校へと展開されていきます。

7月31日には、岩手県盛岡市との友好都市提携5周年を迎え、記念式典や記念イベントを7月に盛岡市で、11月にうるま市で開催され、今後も様々な交流をとおして友好の絆を深めてまいります。

本年4月には、待望の「農水産業振興戦略拠点施設」がオープンする予定です。名称も「うるまルシェ」に決定しました。秋頃には、レストラン棟も整備され、グランドオープンする予定です。皆様に愛されご利用いただけるような施設を目指してまいります。

これからも、うるま市の将来像「愛してます 住みよいまち うるま」の実現に向け、取り組んでまいりますので、本年も引き続き、市政に対するご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

結びに、新春の門出にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

うるま市長

しまぶく  
島袋 俊夫  
としお

平成30年元旦